

【NEWS RELEASE】

2020年3月31日

各 位

株式会社三井住友銀行

極東開発工業株式会社に対する「ESG/SDGs評価」に基づく
コミットメントライン・シンジケーションを実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、極東開発工業株式会社（代表取締役社長：高橋 和也）に対し、「ESG/SDGs評価シンジケーション」における「ESG/SDGs評価」に基づくコミットメントライン・シンジケーションを組成いたしました。

本件は、株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）と弊行が作成した基準に基づき、極東開発工業株式会社のESG（1）側面の取組や情報開示、SDGs（持続可能な開発目標）（2）達成への貢献を評価し、その趣旨に賛同いただいた金融機関によって組成されるコミットメントライン・シンジケーションとなります。

今回の極東開発工業株式会社に対する評価結果は「事業活動における環境負荷低減の取組」、「顧客に対する誠実さ」、「従業員への配慮」において非常に高い水準であると判断されました。企業経営において良好なESG側面の取組を実施されており、また、事業を通じたSDGs達成への貢献意欲が高いとの評価となりました。

ESG側面の取組では、以下の点等が評価されました。

環境マネジメントシステムに基づきグループ全体の環境負荷を把握し、廃棄物については99%以上のリサイクル率を継続して達成しておられる点

顧客に対して品質方針に基づく取組を展開し、アフターサービスのための講習会などをきめ細かく行っておられる点

「ダイバーシティ経営」「健康経営」方針を明確にして従業員がやりがいをもって働きやすい環境づくりに取り組んでおられる点

加えて、事業を通じて、SDGsが示す「目標3：すべての人に健康と福祉を」、「目標11：住み続けられるまちづくり」などの達成に向けた意欲をお持ちです。

三井住友銀行では、「ESG/SDGs評価シンジケーション」のESG評価を踏まえた情報提供を行い、持続可能な社会および市場の形成に一層貢献を行ってまいります。

<ご参考>

1 ESGとは

環境（Environmental）、社会（Social）、企業統治（Corporate Governance）の頭文字を取ったものです。いずれの側面も企業が事業活動を展開するにあたって配慮や責任を求められる重要課題として考えられています。

2 SDGsとは

Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標) の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を 2030 年までに目指す 17 の目標と 169 のターゲットのことです。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。